

江原道ウォーク満喫

倉吉市民ら大会参加

平成 23.11.7

韓国江原道原州市で10月29、30日に開かれた国際ウォーキング大会に、倉吉市民やNPO法人未来のメンバーが参加した。参加者は韓国の街を歩くとともに、鳥取県のPRなどもしながら国際交流を楽しんだ。

大会組織委員会と同NPO



韓国の街並みを歩く参加者

0は2004年にウォーキングの協約を結んでおり、以来毎年大会に参加している。参加者は20、10、5キロとそれぞれが体力に合わせたコースに参加し街並みを楽しみながらウォーキング。交流の場では歌を披露したほか、鳥取県の観光

PRのパンフレットを配るなどして鳥取県をPRした。

一行はまた、石田耕太郎倉吉市長から託されていた原州市長や大韓ウォーキング連盟会長への親書を届け、両市の親睦に一役買った。この訪問は、公益財団法人鳥取県国際交流財団の

助成を受けている。

同NPO韓国交流部会の水野聖子部長は「毎年続けて参加しているので、知っている人と久しぶりに合うと声をかけてくれた。倉吉の未来ウォークに来たことがある人は懐かしんでくれた。親睦が深まった」と笑顔で話していた。